

第71期 第2四半期 株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日



関西アライドコーヒーロースターズ株式会社大阪工場充填機



合鴨加工品



石光商事株式会社

証券コード：2750

株主のみなさまへ

わたしたちは国境を越えて 「食」文化を創造します。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、及び関係者の皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ最前線でご尽力されている皆さまに、深謝申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第71期第2四半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めるとともに収益力を強化し企業業績の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月



代表取締役社長
石脇 智広

目 次

株主のみなさまへ	1
FY2020の計画	2
事業の概況	3
部門別概況	4
連結財務諸表	7
個別財務諸表要旨(参考)	8
会社情報	9

FY2020の計画

新型コロナウイルスの影響を受け、主に外食向け業務用商品の販売が減少いたしました。

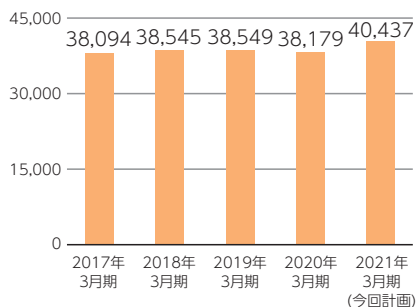
経済活動は緩やかに再開されましたが、回復には時間がかかると考えられ、引き続き業務用商品において、苦戦が強いられると見込まれます。一方、巣ごもり需要の高まりから、コーヒーバッグや一部の惣菜品等家庭用商品の販売は好調であり、需要の増加が見込まれる分野は今後も一層注力してまいります。

また国内外の出張が困難となり、旅費・海外渡航費の大幅な減少が今後も継続されますが、非接触環境での効率的な営業、オペレーションを推進するためIT強化の支出が増加する見込みであります。

個別としては、厳しい環境が継続し売上高及び利益は前年を下回る見込みであります。連結では、前連結会計年度末近くに連結子会社化した東京アライドコーヒーロースターズ株式会社の業績を反映した結果、売上高及び利益は前連結会計年度を上回る見込みであります。

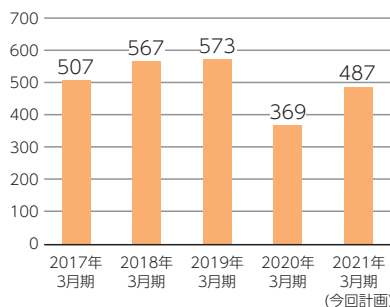
■ 売上高

(百万円)

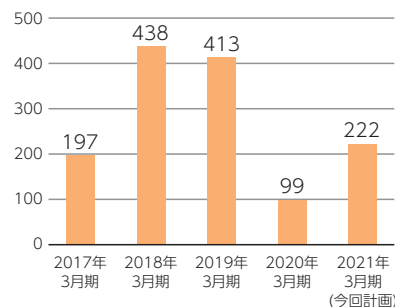


■ 営業利益

(百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



FY2020「利益向上」・「長期的成長」への取り組み

- ① ロジスティクス改革推進
- ② 労働生産性向上
- ③ IT推進
- ④ 多様性推進
- ⑤ 長期的価値向上
- ⑥ 役職員の教育強化
- ⑦ 会社としての発信強化
- ⑧ リスク感知と対応力強化

事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響を受け続けており、緊急事態宣言の発出と解除の後、経済活動は緩やかに再開されましたが、感染自体に依然、収束の目処が立たず、雇用・所得環境の悪化により個人消費は足踏みが続く見通しとなっております。

海外に関しても概ね同様の状況で、感染が最初に広まった中国は世界に先駆けて経済活動を再開し景気が回復傾向にあるものの、欧米を中心に多くの国で感染拡大の勢いが止まらず、米中間の政治的対立と相まって、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、新型コロナウイルスの影響を受け、とくに外食産業におきましては、大人数での飲食を控える動きやお盆の帰省自粛等により客足が伸びず厳しい経営環境が続いております。

当社グループの業績に影響を与える為替相場におきましては、期初107円台で始まり、104円から109円のレンジ内で推移した後、9月末では105円台となりました。

コーヒー業界におきましては、コーヒー相場は期初の1ポンドあたり119.55セントからスタートし、緩やかに相場が下落した後、生産国における新型コロナウイルス感染拡大による供給不安や認証在庫の減少等を材料視した投機筋が市場で買い上げ一時は134セント台まで上昇したものの、9月末にかけて干ばつ懸念があったブラジルで開花をもたらす降雨があったため来年の生産に安堵感が生じ徐々に相場は

下落し9月末では110.95セントとなりました。

このような状況のなか、当社グループは、前連結会計年度からスタートさせた中期経営計画「i(アイ)プロジェクト」で企業としての収益確保＝経済的価値とともに掲げている社会的課題の解決＝社会的価値の追求に重点を置いて推進するとともに、全グループ社員の働き方改革に一層取り組んでおります。特に新型コロナウイルスの感染防止を図るため、リモートワークを積極的に展開しながら営業活動の成果が維持されるようIT強化等を強力に推進しております。一方、収益の確保は、外食関連が新型コロナウイルスの影響を余儀なくされていますが、影響を受けていない分野における営業強化と費用節減により挽回に努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,156百万円(前年同期比2.6%減少)、売上総利益は2,738百万円(前年同期比1.5%増加)、国内・海外出張の自粛や保守的に計上していた貸倒引当金の戻し入れ等により販売費及び一般管理費は減少し、営業利益は197百万円(前年同期比104.1%増加)、経常利益は179百万円(前年同期比175.3%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は138百万円(前年同期比135.5%増加)となりました。

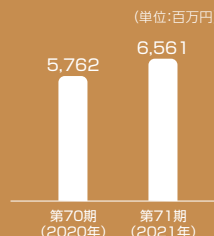
なお、前連結会計年度末近くに連結子会社化した東京アライドコーヒーロースターズ株式会社の業績は、決算期のズレを踏まえ企業結合上、3カ月分の業績となっております。

部門別概況

☎ コーヒー・飲料部門

売上高

65億6千1百万円



売上高構成比
36.2%

コーヒー飲料原料

コーヒー生豆は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響により、家庭用の需要が増加し、特に自家焙煎店に原料を卸す連結子会社であるユーエスフーズ株式会社の販売が増加し、また、外出自粛の影響を受け大きく販売が減少していたコーヒーチェーン店、ホテルや喫茶店向けの業務用についても緊急事態宣言解除後、緩やかな回復基調に留まりましたが、全体としては前年を下回りました。飲料事業についても、業務用の販売が減少いたしました。

また、連結子会社となったことにより東京アライドコーヒーロースターズ株式会社への売上高が計上されないため、前年同期に比べ減少しております。

なお、同社の実績はコーヒー飲料製品で計上しております。

その結果、コーヒー飲料原料の売上高は前年同期比10.9%減少いたしました。



コーヒーバッグ

コーヒー飲料製品

レギュラーコーヒーは、緊急事態宣言発出に伴う外出自粛により家庭内需要が増加し、コーヒーバッグにおいては、昨年行った製造ラインの設備投資により増産が可能となったこともあり、販売量が大きく増加いたしました。

また、連結子会社となった東京アライドコーヒーロースターズ株式会社の売上高が計上され、前年同期比の主な増加要因となりました。

その結果、コーヒー飲料製品の売上高は前年同期比51.7%増加いたしました。

これらの理由により、コーヒー・飲料部門の売上高は6,561百万円と前年同期比13.9%の増加となり、売上総利益は1,124百万円と前年同期比17.5%の増加となりました。

部門別概況



食品部門

売上高

98億2千8百万円

(単位:百万円)

11,268

第70期
(2020年)

9,828

第71期
(2021年)

売上高構成比
54.1%

加工食品

ドライ商品は、給食ルートでダイスカットフルーツ商品の販売が増加いたしました。新型コロナウイルスの影響に伴う外食の落ち込みにより、フルーツ缶詰、野菜缶詰及びイタリアン食品で全般的に大きくマイナスとなり、売上高は前年同期比20.0%減少いたしました。

フローズン商品は、外食の落ち込みのカバーとして量販総菜向けへ魚フライ商品の売込み強化をした結果、販売が増加いたしました。しかしながら、飲料メーカー向け原料、ブラッドオレンジジュース、チーズの落ち込みにより、売上高は前年同期比16.1%減少いたしました。

メーカー商品はドライ・フローズンともに、新型コロナウイルスによる外食の自粛により、売上高は前年同期比35.8%減少いたしました。その結果、加工食品の売上高は前年同期比27.9%減少いたしました。

水産及び調理冷蔵

水産は、新型コロナウイルスによる巣ごもり需要により、量販店向けたこ焼き用タコ原料の販売が増加いたしました。一方、エビは回転寿司業態では持帰りの需要が増えたことで影響は最小限に留まりましたが、その他の外食関連や観光に依存した食品問屋向けの販売が大幅に減少いたしました。

調理冷蔵は、外食向け商品は大きく落ち込みましたが、量販店との鶏肉加工品・原料の開発が順調に進み、加えて、昨年より本格的に取扱いを開始した量販総菜向けの合鴨加工品の販売が増加いたしました。

その結果、水産及び調理冷蔵の売上高は前年同期比6.5%減少いたしました。



合鴨加工品

農産

生鮮野菜は、カット野菜で順調に販売を拡大することができましたが、国産の豊作の影響もあり玉葱、牛蒡の販売が減少いたしました。

農産加工品は、梅加工品において新型コロナウイルスの影響等により商品開発の遅れもあり大きく販売が減少いたしました。しかしながら、筍がレトルト食品メーカー等の使用量増加により、販売が増加いたしました。また、メーカー向け香辛料の販売が順調に拡大いたしました。

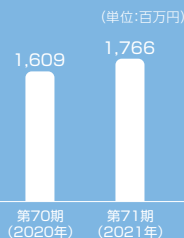
その結果、農産の売上高は前年同期比2.9%増加いたしました。

これらの理由により食品部門の売上高は9,828百万円と前年同期比12.8%の減少となり、売上総利益は1,355百万円と前年同期比9.0%の減少となりました。

✈ 海外事業部門

売上高

17億6千6百万円



売上高構成比
9.7%

新型コロナウイルスの影響を大きく受けた輸出先もありましたが、小売り向け販売ルートを持つ顧客を中心にネットを通じきめ細かく信頼性のある日本食品を紹介し、営業推進に努めました。更に従前より戦略的に取り組んでいる当社独自の企画・開発品が実を結び始め、また新型コロナウイルスからの立ち直りが比較的早かった国の海外子会社が利益面で下支えしました。

その結果、海外事業部門の売上高は1,766百万円と前年同期比9.7%の増加となり、売上総利益は259百万円と前年同期比3.0%の増加となりました。



当社独自の企画・開発品

ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、採用情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。



<https://www.ishimitsu.co.jp/>

石光商事

検索

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日現在)	前第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	18,903	14,207
固定資産	7,363	7,203
有形固定資産	6,022	3,452
無形固定資産	188	237
投資その他の資産	1,152	3,513
繰延資産	5	6
資産合計	26,272	21,417
(負債の部)		
流動負債	9,488	8,009
固定負債	4,935	4,892
負債合計	14,423	12,902
(純資産の部)		
株主資本	8,497	8,198
資本金	623	623
資本剰余金	554	357
利益剰余金	7,427	7,325
自己株式	△107	△107
その他の包括利益累計額	132	110
その他有価証券評価差額金	143	116
繰延ヘッジ損益	△24	△19
為替換算調整勘定	13	13
非支配株主持分	3,218	205
純資産合計	11,848	8,515
負債・純資産合計	26,272	21,417

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	18,156	18,641
売上原価	15,417	15,943
売上総利益	2,738	2,697
販売費及び一般管理費	2,541	2,600
営業利益	197	96
営業外収益	47	44
営業外費用	66	76
経常利益	179	65
特別損失	0	0
税金等調整前中間純利益	179	65
法人税、住民税及び事業税	68	50
法人税等調整額	△10	△29
中間純利益	121	44
非支配株主に帰属する 中間純損失(△)	△16	△14
親会社株主に帰属する中間純利益	138	58

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	621	△797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78	△593
財務活動によるキャッシュ・フロー	8	192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△9
現金及び現金同等物の増減額	542	△1,207
現金及び現金同等物の期首残高	3,615	2,891
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,158	1,683

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表要旨(参考)

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日現在)	前第2四半期会計期間 (2019年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	13,394	13,861
固定資産	3,980	3,846
有形固定資産	2,231	2,363
無形固定資産	176	224
投資その他の資産	1,572	1,258
繰延資産	5	6
資産合計	17,379	17,714
(負債の部)		
流動負債	7,861	7,942
固定負債	3,962	4,367
負債合計	11,824	12,309
(純資産の部)		
株主資本	5,463	5,349
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	4,590	4,476
自己株式	△107	△107
評価・換算差額等	91	55
その他有価証券評価差額金	116	74
繰延ヘッジ損益	△24	△19
純資産合計	5,555	5,404
負債・純資産合計	17,379	17,714

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	16,833	18,451
売上原価	14,536	15,966
売上総利益	2,297	2,484
販売費及び一般管理費	2,165	2,416
営業利益	132	68
営業外収益	61	70
営業外費用	37	39
経常利益	155	99
税引前中間純利益	155	99
法人税、住民税及び事業税	43	37
法人税等調整額	△3	△11
中間純利益	116	73

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

会社設立 1951年5月
 会社名 石光商事株式会社
 資本金 62,320万円
 本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
 従業員数 215名

取締役・監査役

代表取締役社長	石脇 智広
取締役副社長	中埜 晶夫
取締役	吉川 宗利
取締役	小野 智昭
取締役	近藤 直
取締役	吉村 美紀
取締役	本間 孝三
常勤監査役	草場 鉄郎
監査役	藤井 啓吾
監査役	板垣 克己

(注) 1 取締役 近藤 直氏及び吉村 美紀氏は、社外取締役であります。
 2 監査役 藤井 啓吾氏及び板垣 克己氏は、社外監査役であります。

株式の状況

①発行可能株式総数 22,400,000株
 ②発行済株式総数 8,000,000株
 ③株主数 5,023名
 ④大株主

株主名	持株数	持株比率
石光商事従業員持株会	300千株	3.9%
マリンフード株式会社	277	3.6
株式会社三井住友銀行	252	3.3
石光 輝男	238	3.1
駒澤 孝江	216	2.8
日米珈琲株式会社	204	2.6
株式会社トーホー	200	2.6
株式会社みなと銀行	194	2.5
丸紅株式会社	192	2.5
石光 輝信	179	2.3

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(291,991株)を控除して算出しております。

株式分布状況

所有者別	株主数	所有株数
金融機関	7名(0.14%)	747千株(9.34%)
金融商品取引業者	14名(0.28%)	145千株(1.83%)
その他の法人	57名(1.13%)	1,248千株(15.60%)
外国法人等	13名(0.26%)	144千株(1.81%)
個人・その他	4,932名(98.19%)	5,713千株(71.42%)
合計	5,023名(100.00%)	8,000千株(100.00%)

グループ情報

A.Tosh Ishimitsu Beverages
India Private Limited

インドにおいて紅茶製品の製造販売
をしています。

石光商貿(上海)有限公司

中華人民共和国においてコー
ヒー、食品等の販売をしており
ます。

PT. SARI NIHON INDUSTRY

インドネシアにおいて飲料製品
の製造販売をしています。

THAI ISHIMITSU CO., LTD.

タイ王国においてコーヒー、食品等
の販売をしています。

当 社

当社取扱主要品目を海外から
輸入又は国内で仕入れ、全
国のコーヒー焙煎業者、業務用
食品問屋、飲料メーカー、食
品加工メーカー、量販店、外
食チェーン等に販売しており
ます。



本 社

- 本社 神戸市灘区岩屋南町4-40
- 東京支店 東京都品川区南大井6-26-2
- 福岡支店 福岡市博多区博多駅南1-15-22
- 名古屋支店 名古屋市北区五反田町91
- 札幌支店 札幌市中央区北1条西9-3-10
- 物流センター 大阪市西淀川区福町1-2-24



S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (剰余金の配当をする場合)	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL (よくあるご質問(FAQ))	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード) 電子公告により行う 公告掲載URL https://www.ishimitsu.co.jp/ir/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。